

# 見えない 小さな生物の 大きなはたらき - 急速に溶けていく北極で -

目には見えないけれど、地球上ありとあらゆる場所に存在し、  
ときには地球の気候にも大きな影響を及ぼす微生物。  
実は、雪や氷の中という冷たい環境にも生息しています。  
急速な温暖化にともない、北極の氷河や海水の融解が進む中で、  
微生物たちの住環境がどのように変化し、また気候に影響を与えるのか。  
不思議な微生物の世界について、最先端の研究を紹介します。

2024年 **9月21日** (土) 13:00 ~ 16:00  
石川県文教会館 (金沢市尾山町 10-5)

## プログラム

- 13:00-13:05 開会の挨拶
- 13:05-13:45 原田尚美 | 東京大学 大気海洋研究所 教授  
「極域の海洋に棲む生物たちの現状と今後」
- 13:45-14:25 亀山宗彦 | 北海道大学 大学院環境科学院 准教授  
「雲のタネをつくる微生物」
- 14:25-15:05 竹内 望 | 千葉大学 理学部地球科学科 教授  
「氷河を解かず不思議な微生物」
- 15:20-15:50 講演者へのQ&A
- 15:50-16:00 閉会の挨拶 (同日開催・高校生セッションの表彰)

参加無料・事前登録不要

10名以上の団体の方は下記  
申込フォームよりお申込ください。

【申込フォーム・詳細】

<https://forms.gle/ShqFLEg6LjwftHcV6>



共催：一般社団法人 日本地球化学会・金沢大学 環日本海域環境研究センター

問合せ：地球化学会第71回年会実行委員会 (Tel: 076-234-6961)

問合せフォーム：<https://forms.gle/G2KbNRJiJP9sbFAi9>



# 見えない小さな生物の大きなはたらき

- 急速に溶けていく北極で -



## 「極域の海洋に棲む生物たちの現状と今後」

原田 尚美 | 東京大学 大気海洋研究所・教授

北極の海では、海氷によってつくられる特有の生態系が存在します。最近の研究では、他の海洋と共通する予想だにしない生物が生息していたり、知られざる機能を持つ植物プランクトンが発見されるなど、まだまだ新しい世界が広がっています。その北極海の魅力あふれる生物や生態系の現状と今後について解説します。



## 「雲のタネをつくる微生物」

亀山 宗彦 | 北海道大学 大学院環境科学院・准教授

海洋表層のプランクトンの一部は、雲の核となるエアロゾル粒子を大気に供給することで、地球の気候に影響を与えています。近年、北極域の海氷減少によって、このプランクトンの動態にも変化が現れ始めています。この不思議な生物による気候影響プロセスについて、これまで取り組んできた現場観測の様子も交えて解説します。



## 「氷河を解かず不思議な微生物」

竹内 望 | 千葉大学 理学部地球科学科・教授

北極のグリーンランドは、厚さ3千メートルを超える巨大な氷床に覆われています。そこには低温環境に適応した特殊な微生物が生息していますが、この微生物が繁殖すると、氷の表面を黒く変化させ日射の吸収が増えることで、氷の融解を促進します。本講演では、この微生物による氷床融解のしくみと気候への影響に加え、雪氷生物の魅力についても紹介します。



北極でいま何が起きているの？  
微生物が気候に影響を与えるって  
どういうこと？  
石川県ではめずらしい内容の  
トークイベントです。  
ぜひこの機会にご参加ください

参加無料・事前登録不要

10名以上の団体の方は  
右または下の申込サイトより  
お申しください。

【申込フォーム】

<https://forms.gle/ShqFLEg6LjwftHcV6>



## 会場案内

石川県文教会館（石川県金沢市尾山町10-5）

<http://www.bunkyo.or.jp/basic/access.html>

## 交通案内

バス：金沢駅より香林坊方面行のバスをご利用ください。

「南町・尾山神社」下車、徒歩2分。

小松空港からお越しの方：小松空港より金沢市内経由バスにて「香林坊」下車、所要約50分（「香林坊」より徒歩10分）

